



# 優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

大土間SOHOの家

タイプ

持家共同建

講評

オフィスユースの可能性から大土間という提案のあるマンションリフォーム。インナーデッキとの間のスライディング式間仕切りや可動式家具によるパーティションなど、日本文化の持つ可変性と曖昧性を意識した空間構成。



改修前 1

改修前 2

改修前 3

1 用途によって、スタイルによって、いかなるようなカスタマイズも可能にする空間。



2 玄関を開けるとコンクリートフロア。日本古来の土間を思わせるようでもあり、ロフトのようでもある。



3 デッキを張ったベランダは、リビングの延長としても機能する。



4 内蔵されたスライディングウォールがパブリックとプライベートを仕切る。



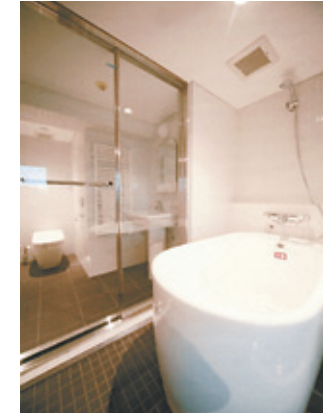
5 可動式ストック。パーティションとしても利用可。



6 キッチンカウンターはマルチな用途に対応。



7 毎日過ごす住人の快適さを満たす。オープンな水回り空間。



8 スタイリッシュなタイル張りのバスルーム。

## リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

大きな土間のあるワンルーム空間が、スライディングウォールと可動式収納により様々なヴォリュームの空間へと変化する可変的スペース。マンションをSOHOとして効率的に利用するために、玄関スペースを排除し、代わりにモルタルの土間を配置した。カウンターキッチンを受付カウンター、ミーティングテーブル、展示スペース等に利用できる空間としている。バルコニーはベンチや照明を設置し屋外リビングとしての利用を促している。ユーティリティはシースルーのデザインとして広がりを出している。

## 《施主の声》

住居用のマンションですが、自宅で仕事をする場合でも、お客様と打ち合わせなどが気楽にできそうです。デザイナーズホテルのようなおしゃれなユーティリティが気に入っています。

## 特に配慮した住宅性能：

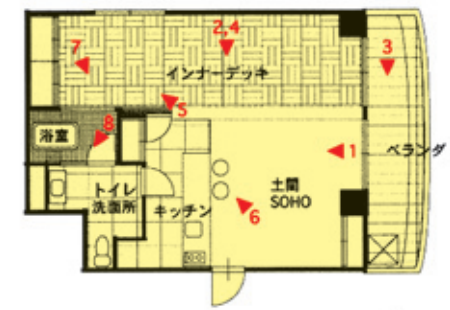
データ		構造/築後年数		鉄骨鉄筋コンクリート 造/ 30 年	
所在地	福岡県福岡市	該当部分工事費	950 万円	総工事費	950 万円
該当工事面積	51.59 m <sup>2</sup> /総工事床面積 51.59 m <sup>2</sup>	居住者構成	15歳以上65歳未満： 1 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ベッド：		
設計者	リノバエステイ(株)アポロ計画・(株)斎藤政雄建築事務所	担当者	松山 真介・斎藤 政雄		
施工者	同上	担当者			

## リフォーム前

## リフォーム後



改修前 (1/150)



改修後 (1/150)